

令和4(2022)年度認知症総合対策推進事業について

栃木県認知症施策の体系

1

- 認知症に関する理解の促進と
家族・本人への支援

2

- 認知症の早期発見・早期対応に向けた
体制の構築

3

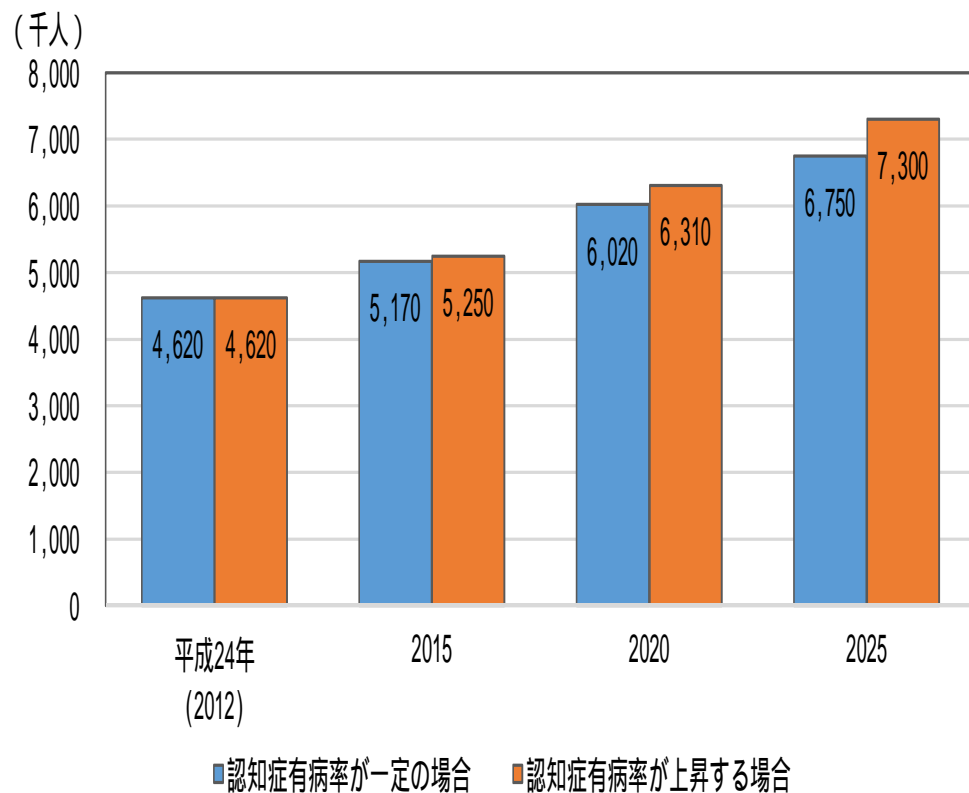
- 認知症対応力の向上

4

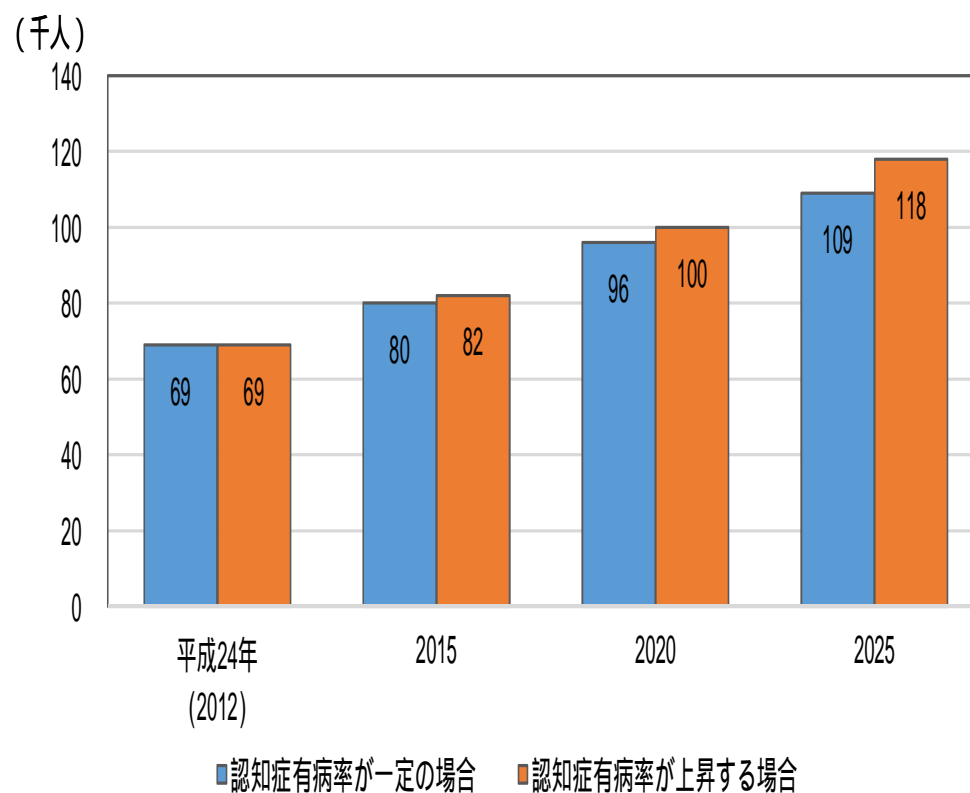
- 若年性認知症への対応

現 状

高齢者人口に対する認知症高齢者数の将来推計 【全国】



左記の推計をあてはめたもの【栃木県】



【厚生労働省「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)【参考】認知症の人の将来推計について」(2015)及び県内市町の高齢者数推計に基づき推計】(出展)

本県の取組状況

- 県高齢者支援計画「はつらつプラン21(八期計画)」における評価指標等

評価指標	基準値 R2(2020).12	目標値	実績値 / 目安値 R4(2022)	達成見込み
認知症サポーター	229,319人	231,319人	251,888人 / 230,440人	A
認知症サポート医	200人	300人	272人 / 270人	A
かかりつけ医	748人	800人	794人 / 783人	A
歯科医師	309人	370人	338人 / 350人	B
薬剤師	457人	600人	564人 / 550人	A
病院医療従事者	2,941人	4,100人	3,016人 / 3,700人	C
看護職員	383人	550人	502人 / 500人	A
介護基礎	932人	1,600人	1,859人 / 1,400人	A
介護実践者	4,057人	4,600人	4,357人 / 4,419人	A
介護実践リーダー	755人	880人	815人 / 838人	B
介護指導者	37人	40人	38人 / 39人	B
チームオレンジ等の整備	4市町	25市町	19市町 / 18市町	A

認知症施策

【予算額】
R4当初 48,721千円

課 題

認知症の人や家族の視点を重視した施策の推進

認知症の人にやさしい地域づくりの推進

認知症医療連携体制の充実

地域における医療や介護等関係機関による支援体制の充実

市町への支援

チームオレンジ設置及び認知症地域支援推進員の活動等を支援

令和4年度の主な取り組み

1. 認知症に関する理解促進と家族支援

認知症対策推進会議の開催
認知症電話相談、認知症家族介護者向け介護教室の実施
認知症サポーター養成講座の開催、チームオレンジの整備
や活動促進のための市町支援
認知症当事者による移動認知症カフェの開催
広報媒体を活用した普及啓発の実施
高齢者権利擁護研修の実施

2. 医療介護の連携による適切な対応

認知症疾患医療センターの運営（県内10カ所）
認知症初期集中支援チーム員や認知症地域支援推進員の研修の開催
とちぎオレンジドクター登録・周知
市町認知症施策推進連絡会等の開催

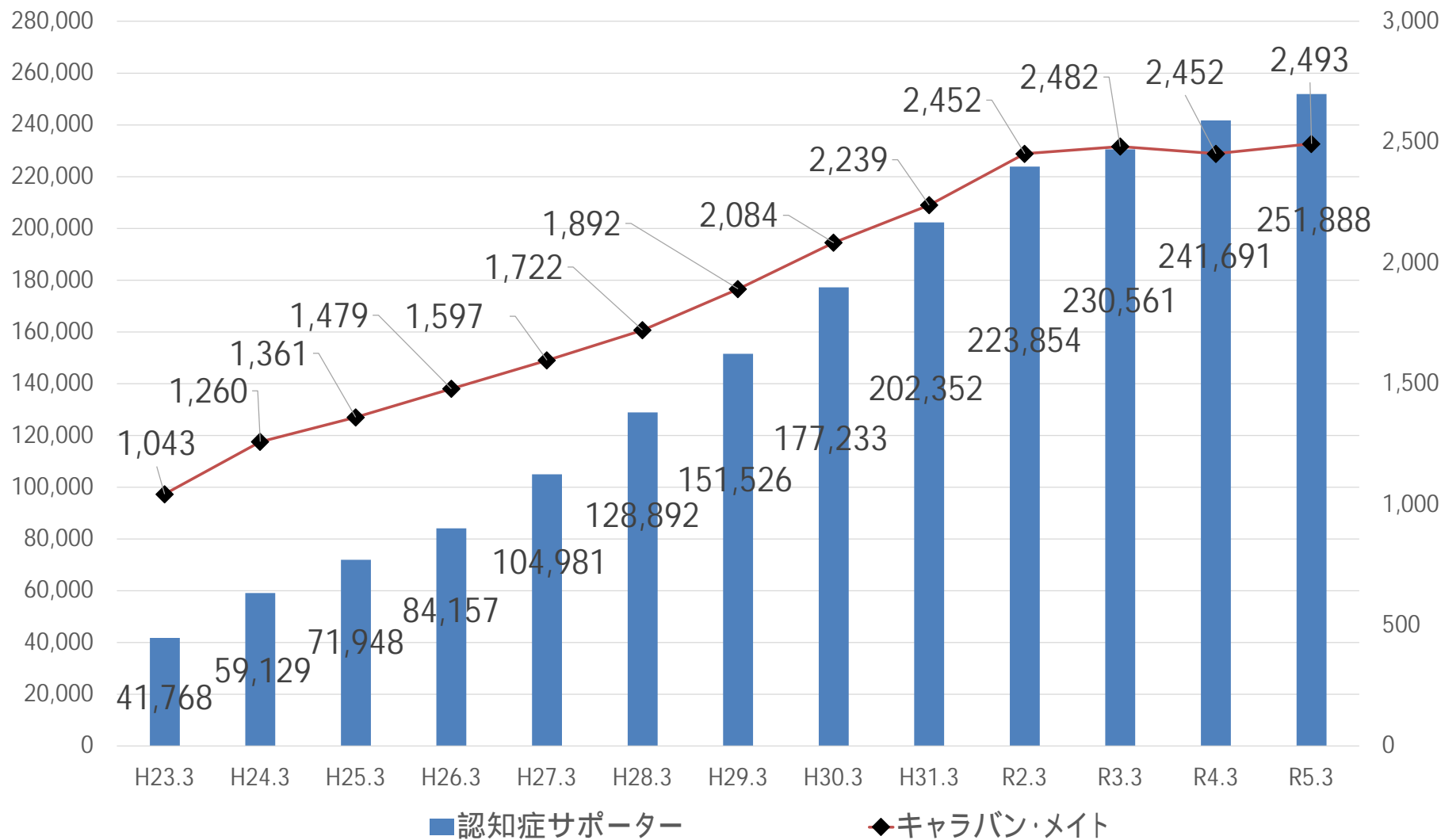
3. 認知症対応力の向上

かかりつけ医、歯科医師等への認知症対応力向上研修の開催
認知症介護研修事業の実施

4. 若年性認知症への対応

若年性認知症支援コーディネーターによる支援関係者向け研修会の開催
総合相談・ネットワーク会議による相談支援体制の整備

1. 認知症に関する理解の促進と本人・家族への支援



キャラバン・メイト養成講座

開催日: 令和4年6月6日

修了者: 46名

(1) 認知症の人と家族に対する支援事業の実施状況

家族介護者交流会・相談会の開催状況

期 日・会 場	出席者	内 容
令和5年3月20日 とちぎ福祉プラザ	30名	「認知症の人と“いまここ”を共に楽しむ」 ワークショップ (介護者役と認知症の人役に分かれて演技体験等) 講師:「老いと演劇」 OiBokkeShi 菅原 直樹氏

相談実績

電話相談 (毎週月曜～金曜 13:30 16:00 とちぎ健康の森) 138件
来所相談 (毎月第4水曜 13:30 16:00 とちぎ健康の森) 82件

(2) 認知症の人と家族に対する支援事業の実施状況

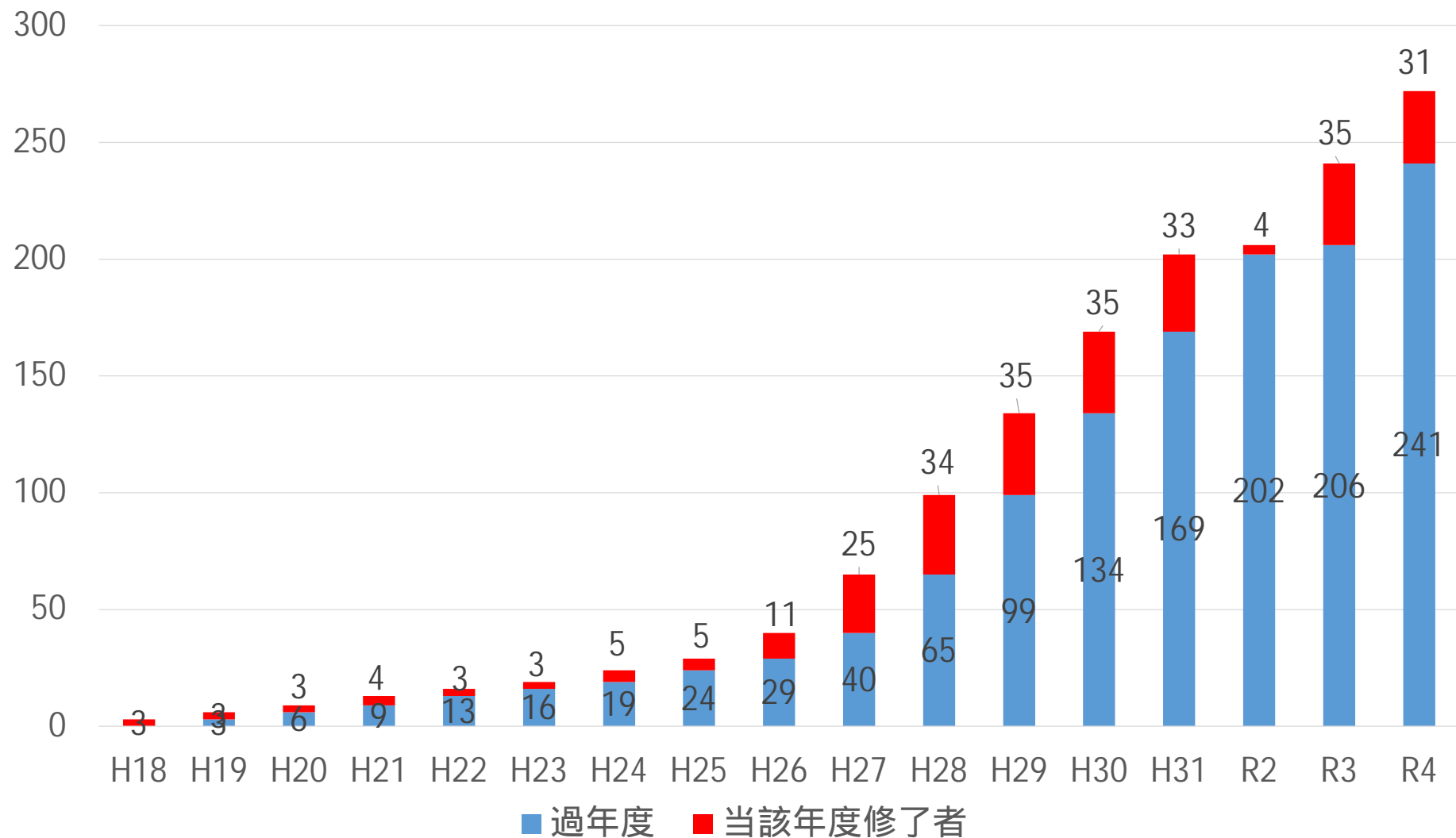
出張どこでも認知症カフェ開催事業

目的：

市町において、認知症の人本人の視点を認知症施策の企画・立案や評価に反映できるよう、認知症の人本人が、自身の希望や必要としていること等を本人同士で語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場である「本人ミーティング」の開催に向けた支援を目的とする。

	出張先	参加者数	実施状況
R3年度	真岡市	58名	認知症カフェの紹介 「認知症とともに生きる」認知症当事者としての想いを語る フリートーク
R4年度	壬生町 (オレンジカフェなごみ)	30名	(アンケート結果から) ・「認知症当事者としての想い」を聞いて、認知症のある方に対しての理解が深まったか。 【深まった(88.6%) どちらでもない(7.1%)】
R4年度	那須塩原市 (笑温カフェ くるる)	45名	・周囲の理解しようとする気持ちが大切だと改めて感じた。 ・自分の事も振り返り、同じだと思った。 など

(3) 認知症サポート医研修修了者数（栃木県）（人）



認知症サポート医養成研修 修了者:31名【累計272名】

(2) 認知症疾患医療センター連絡会の開催

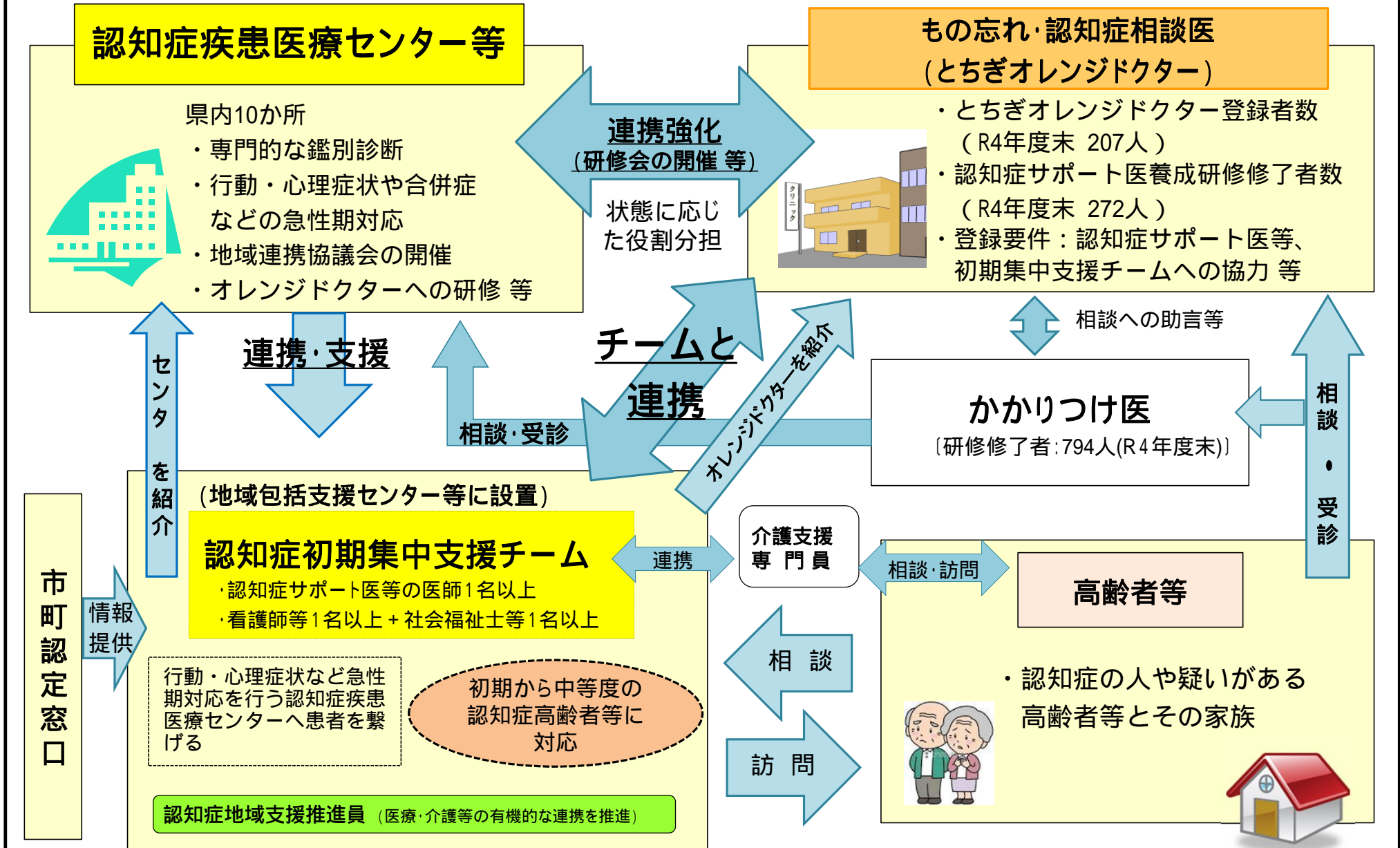
目的

認知症疾患医療センター相互の連携及び情報の共有を推進し、専門医療相談や鑑別診断等のセンター機能の充実を図る

- 令和3(2021)年度の開催
日時: 令和元年9月 6日
内容: コロナ禍における核認知症疾患医療センター
運営事業の取組状況について
- 令和4(2022)年度の開催 なし

～ 認知症疾患医療センター等を中心とした連携体制図 ～

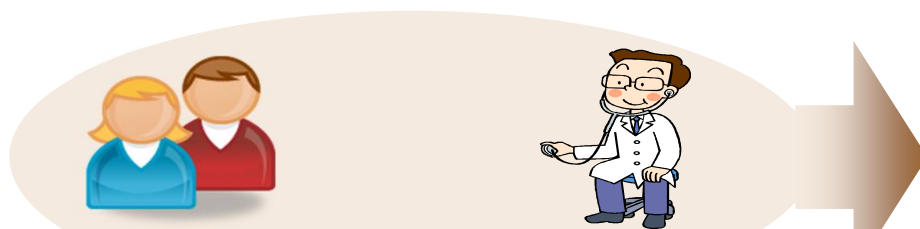
認知症医療連携体制構築事業



(3) 認知症初期集中支援チーム

複数の専門職が家族の訴え等により
認知症が疑われる人や認知症の人及び
その家族を訪問し、アセスメント、家族
支援等の**初期の支援を包括的・集中的**
(おおむね6ヶ月)に行い、自立生活の
サポートを行うチーム

【認知症初期集中支援チームのメンバー】



医療と介護の専門職

(歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、
作業療法士、精神保健福祉士、社会
福祉士、介護福祉士等)

チームに協力する医師

(認知症サポート医嘱託可)

【配置場所】

地域包括支援センター等

診療所、病院、認知症疾患医療センター
市町村の本庁

【対象者】

40歳以上で、在宅で生活しており、かつ
認知症が疑われる人又は認知症の人で
以下のいずれかの基準に該当する人

医療・介護サービスを受けていない人、
または中断している人で以下のいずれかに
該当する人

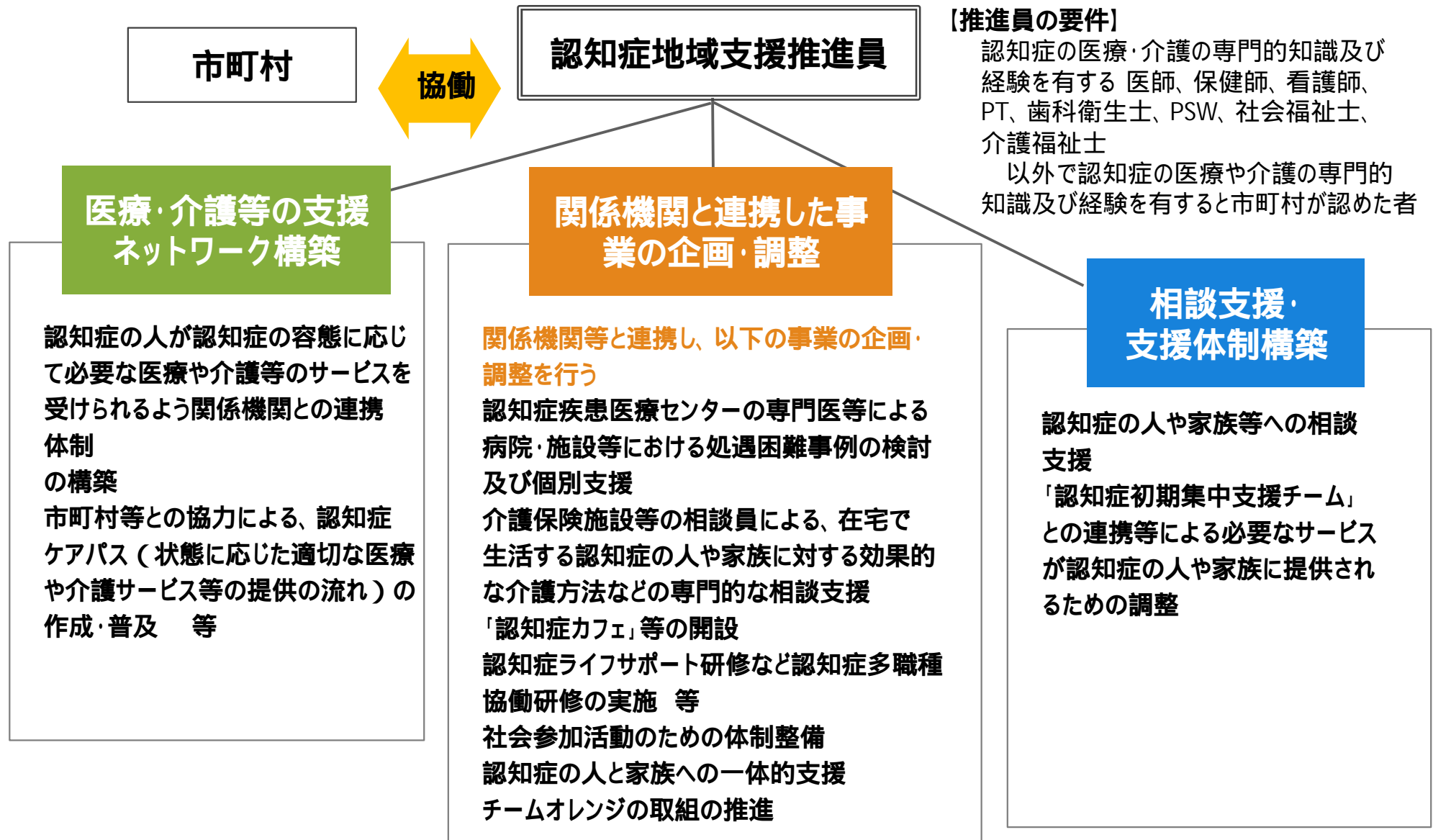
- (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
- (イ) 継続的な医療サービスを受けていない人
- (ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない人
- (エ) 診断されたが介護サービスが中断している人

医療・介護サービスを受けているが
認知症の行動・心理症状が顕著なため、
対応に苦慮している

認知症初期集中支援チーム員研修

令和4年度 修了者: 17名

(4) 認知症地域支援推進員



認知症地域支援推進員養成研修 令和4年度 修了者:34名
 認知症市域支援推進員連絡会 令和4年10月6日 参加者:39名 令和5年2月14日 参加者:40名

(5) もの忘れ・認知症相談医 (とちぎオレンジドクター)

1 目的

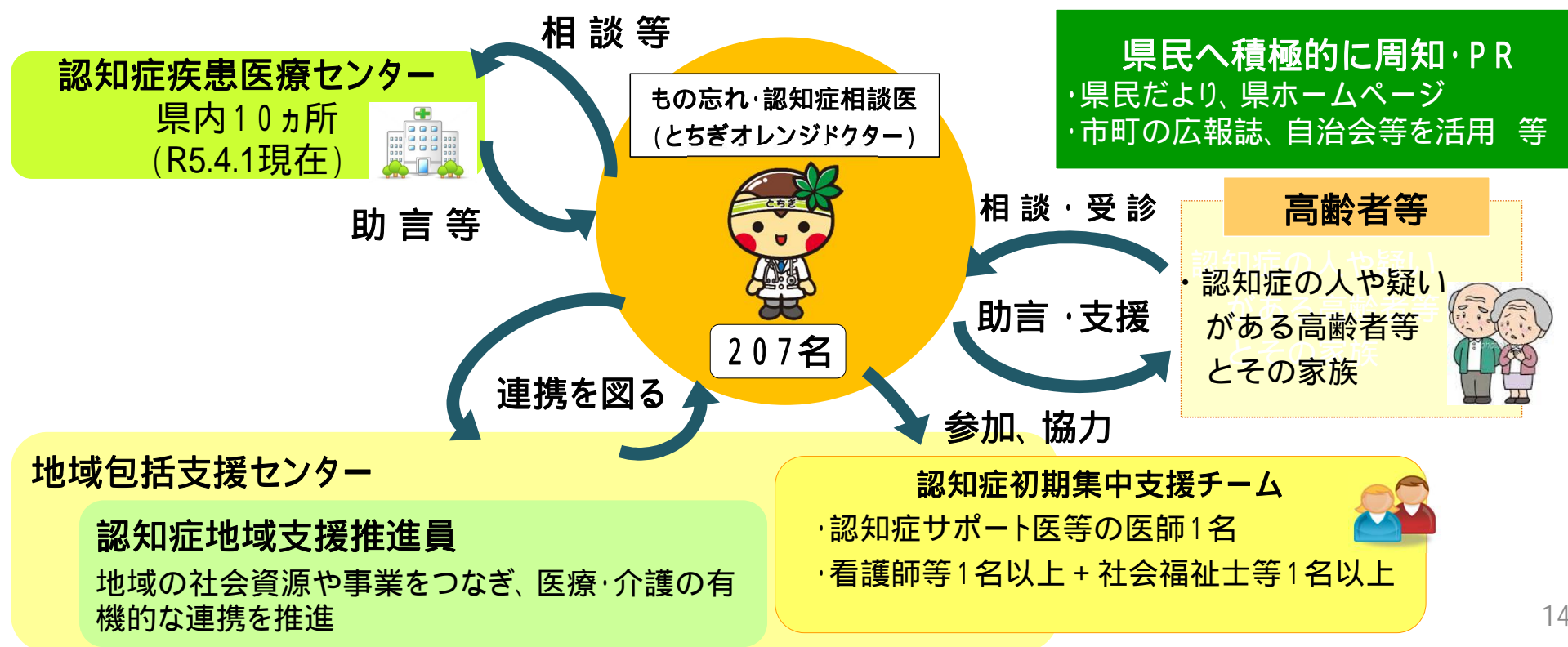
高齢者等が身近な医療機関において、気軽にもの忘れや認知症の相談ができ、より早い段階から適切な医療と介護のサービスを提供できる体制を整備するため、もの忘れ・認知症相談医 (とちぎオレンジドクター) を設置し、地域における認知症の早期発見及び早期診断等を推進する。

2 要件

認知症サポート医養成研修修了者等で、かつ県が実施する「もの忘れ・認知症相談医向け研修」を受講できる医師

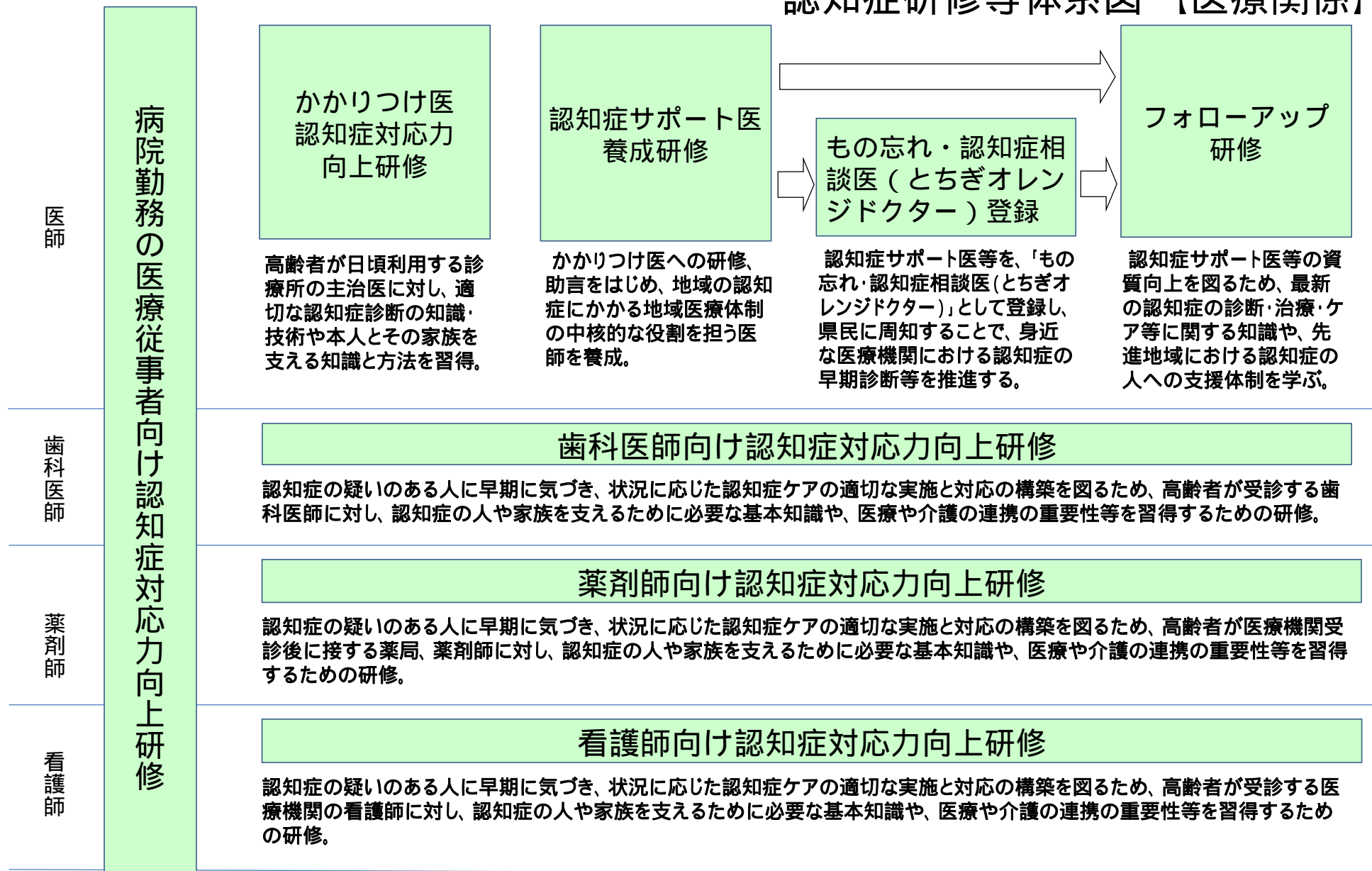
3 役割

- (1) もの忘れ及び認知症に関する相談
- (2) 認知症患者とその家族への支援
- (3) 認知症初期集中支援チームへの参加、協力
- (4) 認知症疾患医療センターとの連携 等



3. 認知症対応力の向上

認知症研修等体系図【医療関係】

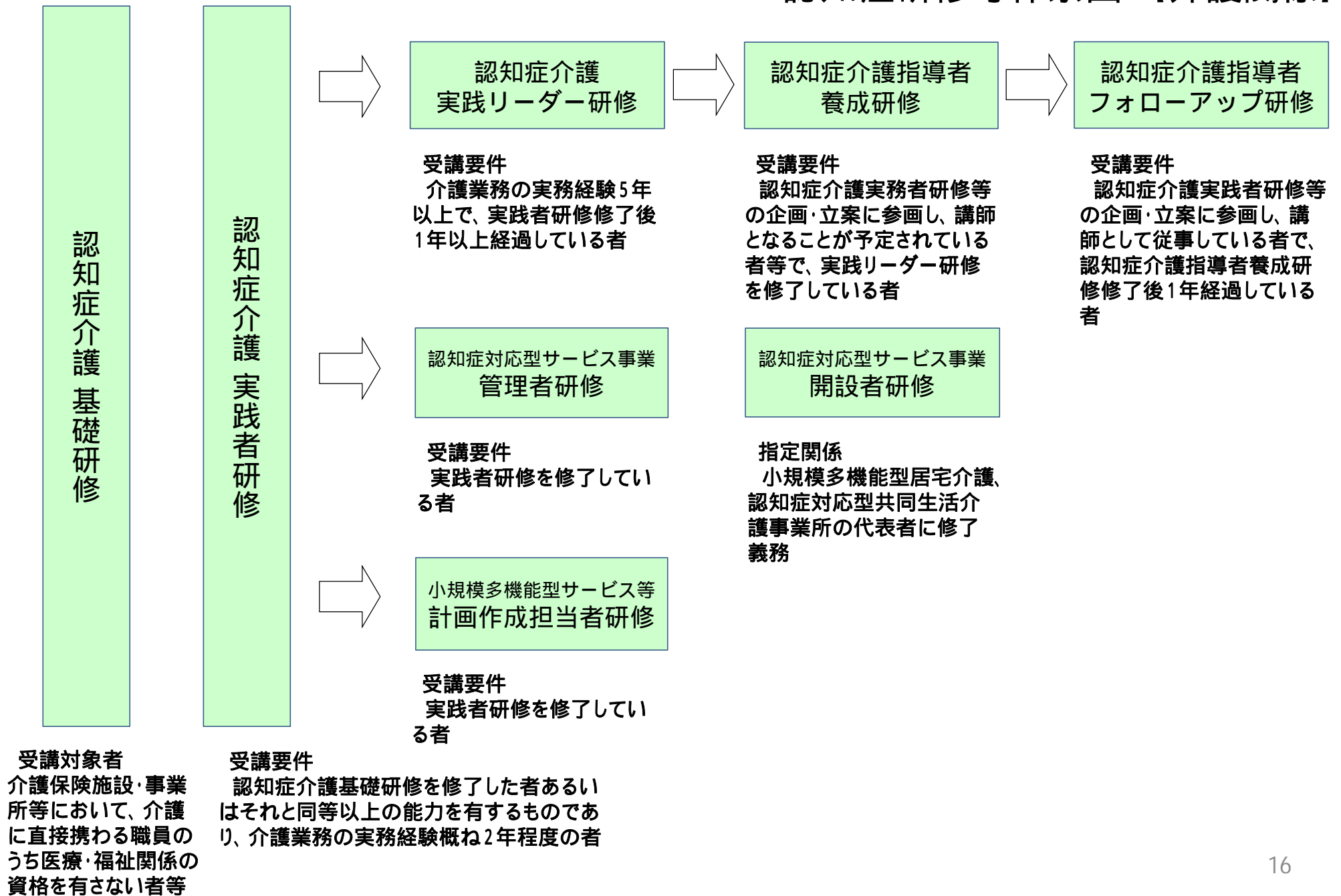


医療従事者
その他

病院での認知症の人の手術や処置等の適切な実施の確保を目的に、病院勤務の医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について習得するための研修。

3. 認知症対応力の向上

認知症研修等体系図【介護関係】



3. 認知症対応力の向上

(1) かかりつけ医認知症対応力向上研修 修了者数

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
修了者数	81	156	135	46	44	43	44	32	54	55	27	18	13	0	23	23
累計	81	237	372	418	462	505	549	581	635	690	717	735	748	748	771	794

研修カリキュラム	かかりつけ医の役割(30分)	
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を取り巻く施策(認知症施策推進大綱) ・かかりつけ医に期待される役割 ・早期発見・早期対応の意義
	基本知識(60分)	
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の原因疾患 ・認知症の診断基準
	診療における実践(60分)	
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期の対応のポイント ・認知症の問診・アセスメント ・認知症の診療におけるマネジメント(非薬物・薬物療法等)
	地域・生活における実践(60分)	
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア・支援の基本 ・認知症の人の意思決定の支援について

かかりつけ医認知症対応力向上研修 令和4年度受講者:125名(修了者:23名)【累計794名】

3. 認知症対応力の向上

(2) 医療従事者向け対応力向上研修（歯科医師・薬剤師・看護職）修了者数

年度	H30	H31	R2	R3	R4	累計
歯科医師	84	19	0 (中止)	18	11	338
薬剤師	82	53	49	29	29	564
看護職員	106	70	58	62	59	502

(3) 医療従事者向け対応力向上研修（病院勤務）修了者数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	累計
実施 病院数	6	6	10	8	11	7	0 (中止)	0 (中止)	2	50
修了者数	436	441	568	422	608	466	0	0	75	3,016

3. 認知症対応力の向上

(4) 認知症介護研修修了者数

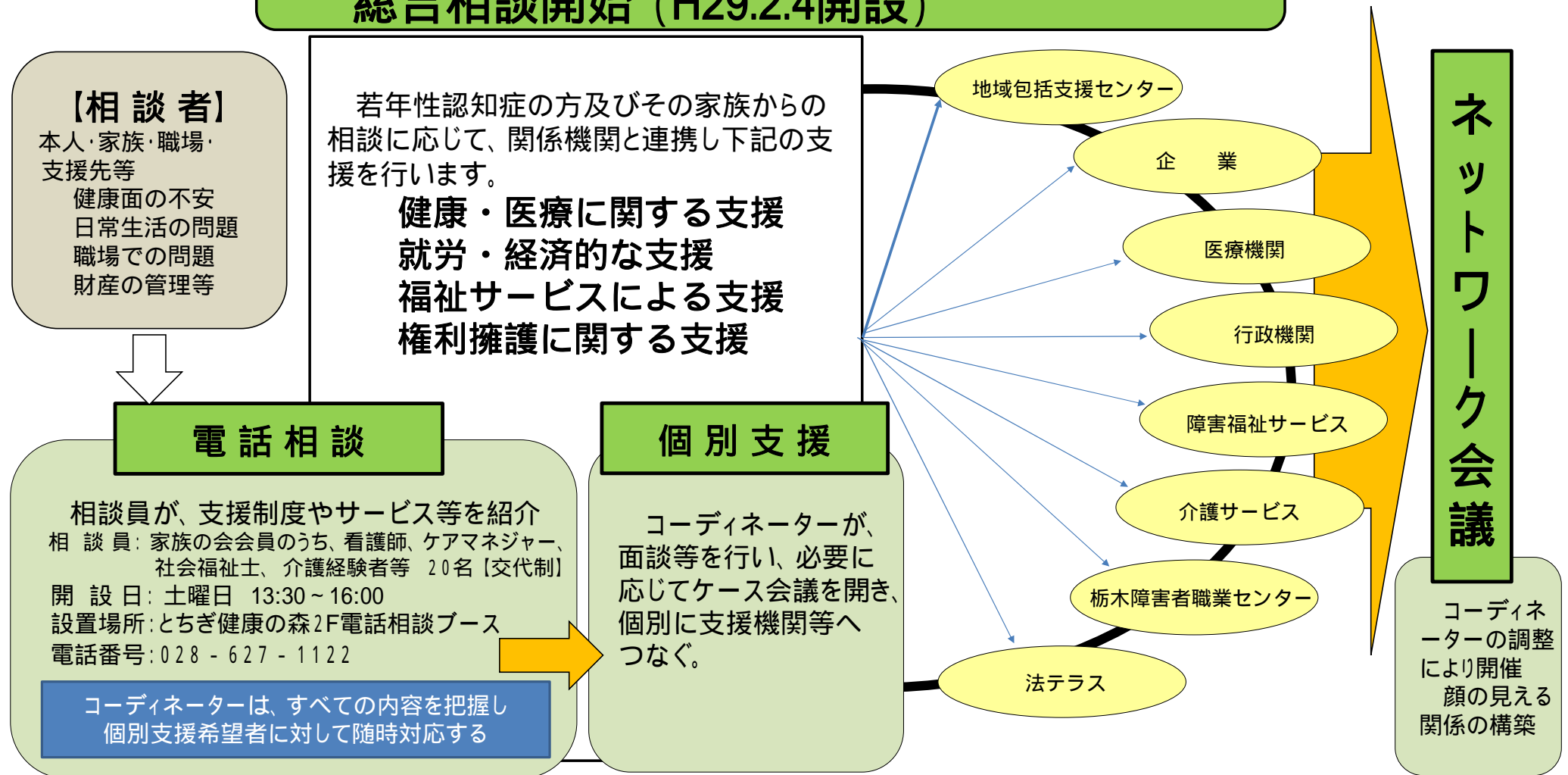
(福)恩賜財団済生会支部 栃木県済生会	(福)浴風会
<p>認知症介護実践研修 実践者研修(2回) 講義等7日間 職場実習4週間 (修了者数145名)</p> <p>実践リーダー研修(1回) 講義等8日間 外部実習1日間 職場実習4週間 (修了者数 25名)</p> <p>認知症対応型サービス事業管理者研修(2回) 講義等 2日間(修了者数 36名)</p> <p>小規模多機能型サービス等計画作担当者研修 (1回) 講義等 2日間(修了者数 15名)</p> <p>認知症対応型サービス事業開設者研修(1回) 講義等 3日間(修了者数 5名)</p>	<p>認知症介護基礎研修 eラーニング(修了者数198名)</p> <p>認知症介護指導者養成研修 講義等3週間 職場研修6週間 (修了者数1名)</p> <p>認知症介護指導者 フォローアップ 研修 講義・演習等 5日間 (修了者数1名)</p>

4. 若年性認知症への対応

若年性認知症支援事業【H28～】

実施主体：栃木県（認知症の人と家族の会栃木県支部へ委託）

若年性認知症支援コーディネーターの配置 総合相談開始（H29.2.4開設）



電話相談 17件 若年性認知症支援ネットワーク会議 開催日：令和4年12月13日
市町職員等研修会 開催日：令和4年12月13日 参加者：49名